

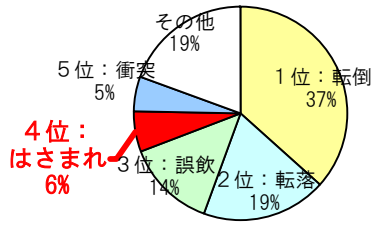


子供も、もう安心！“ベストの指はさみ防止”ヒンジ&打掛錠 ～園児用ブースは、安全が第一です～

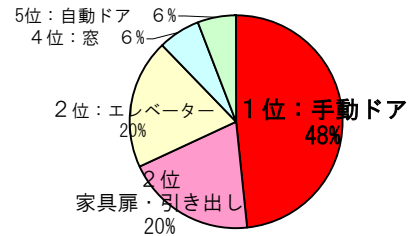
意外と多い普通のドアでの「はさまれ事故」

子供の「はさまれ事故」はよくある事故で、ケガの原因でも第4位に入る程。また、建物内での場所は「手で閉める普通のドア」が全体の約半分と圧倒的に多く、身近に危険が潜んでいる事がわかります。

子供のケガの原因



建物内で「はさまれ」が起る場所



子供の事故防止対策検討委員会報告書より

気を付けたいトイレのドア

幼稚園で行ったアンケートでは危険を感じる場所の一つとしてトイレのドアが挙げられました。一度に複数の人が使う場所程起りやすいのがはさまれ事故ですが、中でも特にトイレは慌てて出入りする事が多い上に、大人の目が届きにくいいため、危険性が高いといえます。

幼稚園等で指はさみの危険がある場所

- ①トイレのドア ②教室の出入口扉 ③サッシ窓 ④遊具

「はさまれ事故」の原因と危険性

はさまれ事故の大半は蝶番のある吊元で起っています。「自分で扉を閉めて」戸先ではさむよりも「吊元の隙間に手を掛けている時に、誰かが扉を閉めてはさんでしまった」場合が多いからです。また、大きな力がかかる吊元は、戸先の場合より大ケガにつながりやすく、指を切断してしまった例もあるなど、特に注意が必要です。

指はさみ防止製品でトイレを安心・安全に！



危険な“指はさみ”を防ぐ 610C打掛錠&600Cグレビティヒンジ



No.610C 打掛錠
戸先側での指はさみを防ぎます！



安心・安全
ゆびGUARD

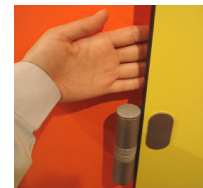
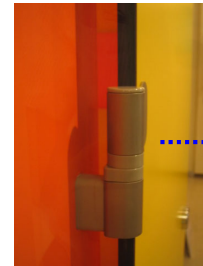


No.600C 指はさみ防止ヒンジ
吊元側での指はさみを防ぎます！

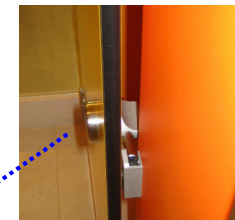
指はさみを防ぐには隙間をふさいだり、小さくして指が入らないようにする方法が多く用いられます。しかしベストでは「隙間を指より大きくすれば扉を閉めてもはさまれない」という方法を考えました。この方法なら吊元だけでなく、戸先側での「はさまれ事故」も防ぐ事ができるので、より安全です。

使用例

吊元（蝶番）側



戸先（錠前）側



扉がこどもの指のサイズ分
浮くのではさまれません！

※No.610CとNo.600Cはペアで御利用下さい

各商品情報はコチラ

[No.610C 打掛錠（指はさみ防止タイプ）](#)

[No.600C グレビティヒンジ（指はさみ防止タイプ）](#)